DELCATEC

● このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

取扱説明書

DXアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

無線式防犯報知警報システム

技術基準認証品

ハイアラーム3Z

防犯受信警鳴部・主装置

SHA-500Z

● 本器は下記適用送信部と組み合わせて使用します。
本器単体ではどんな用途にも使用できませんのでご注意ください。また、スーパーワイヤレスシリーズとは互換性がありませんので組み合わせて使用することはできません。

● **適用送信部**

非常用ペンダント形送信部	SHA-60
浴室用押しボタン送信部	SHA-70
人体検知器付送信部	SHA-100

本器は犯罪および火災防止器ではありませんので、万一犯罪その他の事故による損害が発生しましても当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

《安全上のご注意》

● ご使用の前に、この取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

絵表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

● 指定された電源（AC100V　50/60Hz）以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持って行なってください。コードを引っ張って抜きますとコードが破損したり、ショートしたりして火災、感電や故障の原因となります。

●本器は、屋内使用ですので絶対に屋外で使用しないでください。感電、火災や故障の原因となります。

●ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●本器をあけたり、分解したり、改造したりしないでください。けが、感電、火災や故障の原因となります。

●不安定な壁面（壊れかけた壁など）に取り付けないでください。落下して、けがや故障の原因となります。

●万一、煙が出ていたり、変な臭いがするなど異常状態で使用すると火災、感電などの原因となります。このようなときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから購入店に相談してください。ご自分での修理は、絶対にしないでください。

●本器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、切断したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）しないでください。火災、感電の原因となります。
コードが傷ついた場合（心線の露出、断線など）購入店に修理を依頼してください。絶対にそのまま使用しないでください。

●万一、本器を落としたり、破損したり、異物や水などの液体が内部に入った場合は、すぐにコンセントからプラグを抜き、購入店に相談してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠注意

●技術基準認証番号を表示しているシールを改ざんしたり、はがしたり、故意に表示を消したりしないでください。このような行為をしたものを使用することは法律で禁止されています。

●本器と自動通報装置を接続する場合、お互いの取扱説明書をよく読み、理解してから接続してください。誤った接続をしますと非常時に自動通報装置が働かない場合があります。

●本器は、直射日光の当たる場所、温風の吹き出し口、動作しているストーブなど高温になる場所などや水気の多い場所（お風呂場など）、埃の多い場所、油や煙のかかる場所（台所や厨房）などに設置しないでください。ケースの変形や故障の原因となります。

●旅行などで長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントより抜いてください。

●本器をお手入れする際は、必ず、電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。感電の原因となります。

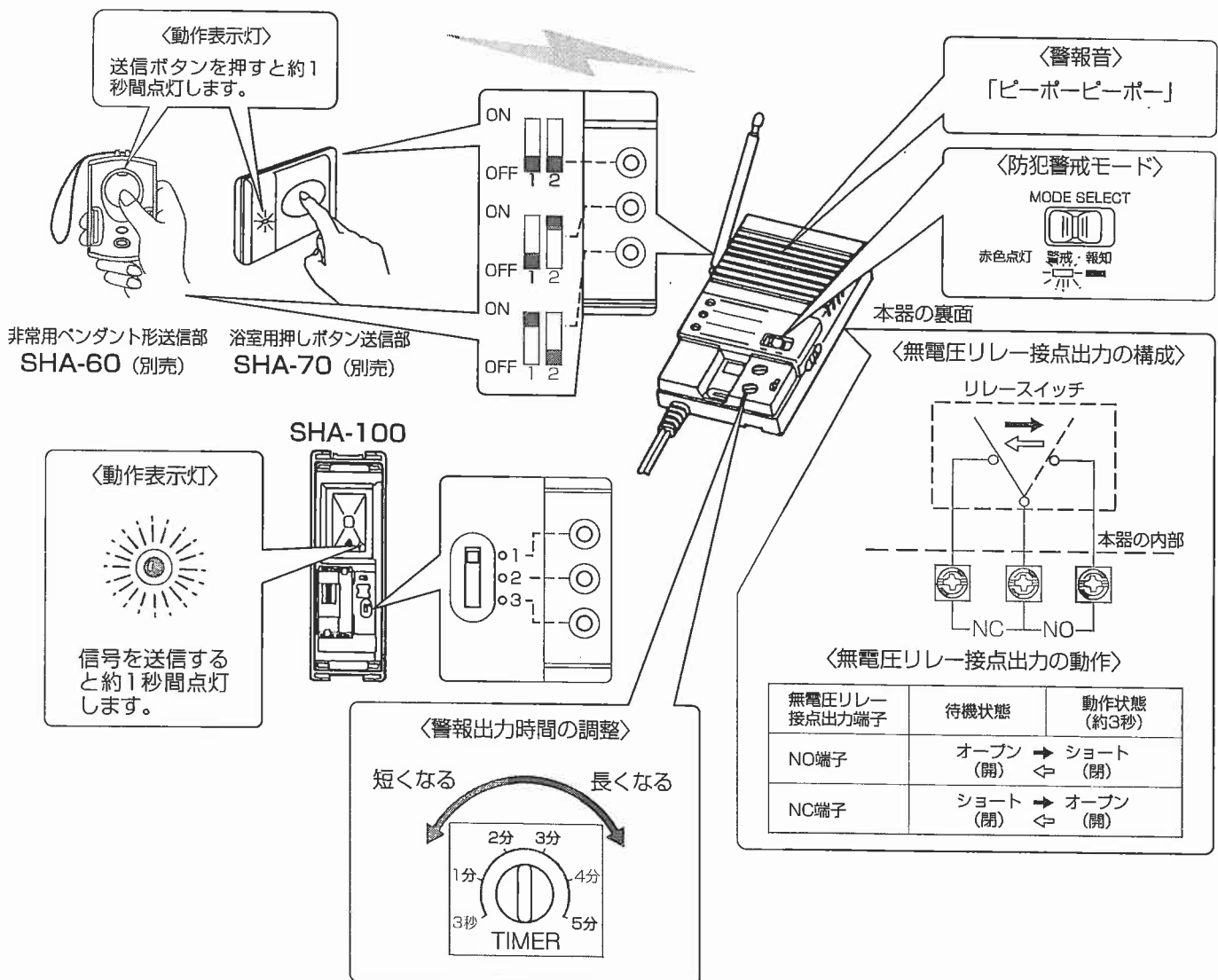
《警告ランプの点灯表示》

● 送信部の選曲スイッチの設定位置（下図参照）と本器の警告ランプ1、2、3がそれぞれ1対1で対応しています。よって本器は、例えば選曲スイッチの設定位置が「1」の送信部の信号を受信すると警告ランプ1が点滅し、その後連続点灯表示します。1度点灯すると、防犯報知モードに切り換えるまで点灯状態です。

《無電圧リレー接点出力・有電圧リレー接点出力》

● 送信部の選曲スイッチに関係なく、本器は送信部の信号を受信すると待機状態から動作状態になります。動作状態の時間は、無電圧リレー接点出力は約3秒間の固定で、有電圧接点出力は警報出力タイマボリュームで警報音発報時間と同時間の調整ができます。また、動作状態でも防犯報知モードに切り換えるとその時点で待機状態へ戻ります。詳しい使用方法は後の4-4を参照してください。

《防犯警戒モード時の警報出力の確認方法》

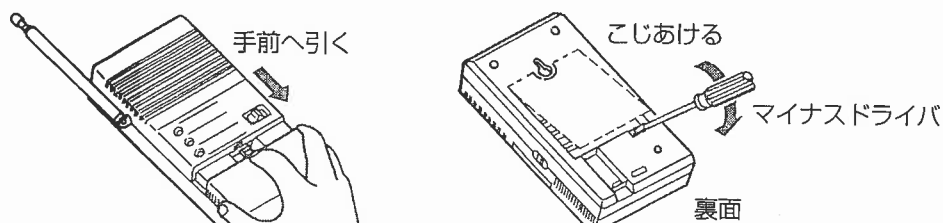
● 確認は、別売の送信部SHA-60、SHA-70または、SHA-100と組み合わせて行なってください。

《外出タイマ・遅延時間》

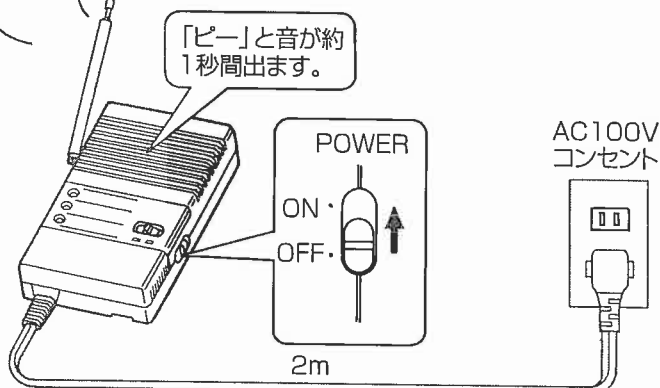
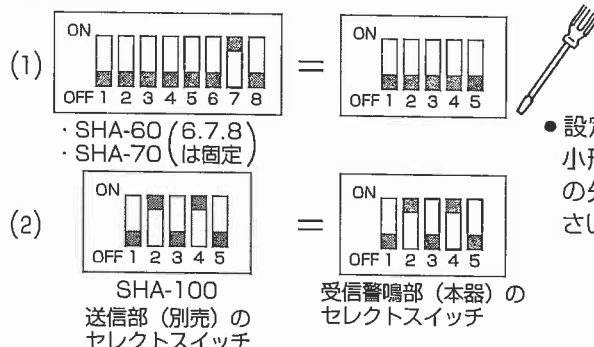
● 本器には防犯警戒に便利な外出タイマ機能があります。この機能は防犯警戒モードに切り換えた時点から一定時間（0秒または60秒：外出タイマスイッチによる選択切換）送信部からの信号を一切受け付けません。この一定時間を外出時間といいます。次にこの外出時間が過ぎますと、送信部からの信号を受け付けますが、受信した時点から一定時間（約30秒）警報出力を遅らせてスタートさせます。この時間を遅延時間といいます。

外出時の警報……外出タイマスイッチをON側にしてください。（外出時間は約60秒、遅延時間は約30秒です。）

在宅中の警報……外出タイマスイッチをOFF側にしてください。（外出時間は0秒、遅延時間は0秒です。）

4 ご使用方法

1．フタの開け方

2．電源

● AC100Vを使用します。
右図のようにAC100Vコンセントへ本器の電源プラグを差し込んでください。
電源スイッチを「ON」にすると、スピーカより「ピー」と音が約1秒間出ます。このとき、防犯報知モードランプまたは防犯警戒モードランプが点灯します。これ以後、本器のスイッチ類を操作するごとに「ピー」という音が約1秒間出ますが、これはスイッチ操作確認音であり、故障ではありません。

3．セレクトスイッチ

● 隣近所の他のハイアラームシリーズとの混信を避けるために本器にはセレクトスイッチがあります。
右図(1)(2)のように本器のセレクトスイッチと別売の送信部のセレクトスイッチとは必ず同じ組み合わせにしてください。違っていますと動作しません。

《例えば ―― 》

● 設定は先のとがった小形⊖ドライバなどの先で行なってください。

（注1）セレクトスイッチの設定の組み合わせは、上図の組み合わせを含めて32通りあります。
（注2）隣近所に他のハイアラーム3X又はハイアラーム3Zシリーズが設置されますと、混信して誤動作することがあります。このような場合は、セレクトスイッチの組み合わせを変えれば解決できます。

4．モード設定

● 本器は防犯警戒モード・防犯報知モード・非常通報モードの3種類の使用方法があり、用途に応じてモード切換スイッチにより選択してください。

防犯警戒モード……外出中または在宅中の防犯に使用
防犯報知モード……在宅中の防犯報知に使用
非常通報モード……非常時の報知に使用（送信部に別売のSHA-60、SHA-70を使用の場合）

※送信部のモードは、SHA-60、SHA-70を使用の場合『防犯報知』、『防犯警戒』、『非常通報』モード、SHA-100を使用する場合『防犯警戒』、『報知・警戒』、『防犯報知』モードに設定してください。（「4-5」および各送信部の取扱説明書を参照してください。）

4-1 防犯警戒モード

● 本器は防犯警戒モードのときの警報音の発報、警報ランプの点灯表示および無電圧リレー接点出力、有電圧リレー接点出力の4つを同時に出力します。

《警報音の発報》

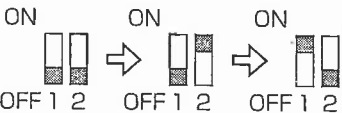
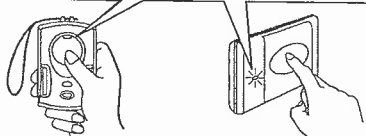
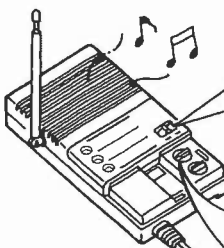
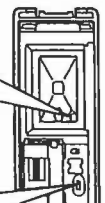
● 送信部の選曲スイッチに関係なく、送信部と本器のセレクトスイッチが同じ組み合わせであれば本器は送信部の信号を受信すると「ピーポーピーポー」というアラーム音を発報します。発報時間は警報出力タイマボリュームにより、約3秒～5分まで調整できます。また発報中でも防犯報知モードに切り換えるとその時点で発報は停止します。

《出力タイマの操作方法》

外出タイマスイッチの設定	外出時間	外出時／在宅時		帰宅時
ON 外出タイマ OFF	60秒	「ピッピッー」という音が外出時間中鳴ります。 防犯警戒モードに切り換える。 MODE SELECT 警戒：報知 防犯警戒モードランプ点灯	(外出時) 60秒以内に送信部の検知エリアを通過する。	人体検知器付送信部SHA-100の検知エリアを通過後約30秒以内に防犯報知モードに切り換える。
ON 外出タイマ OFF	0秒		(在宅時) ただちに警戒状況に入ります。	―――

(注) 外出時または帰宅時、設置した送信部の検知エリアを通過しない警戒状況であれば、外出時間または遅延時間は無関係となりますが、検知エリアを通過する外出または帰宅での警戒状況はこの時間内に上記の行動をしてください。
この時間を経過しての行動は本器の警報出力を動作させますのでご注意ください。

4-2 防犯報知モード

- 本器は防犯報知モードのとき、3種類の報知音を発報します。この報知音は送信部の選曲スイッチにより選曲できますので、送信部を3か所にそれぞれ1台ずつ設置すると、警報ランプと報知音によりどの設置場所に異常があるのかすぐわかります。本器1台に対して送信部を複数台組み合わせて使用できますが、報知音は3音しか内蔵していません。
なお防犯報知モードのときは、警報ランプ1～3は点滅後、約5秒間点灯しますが、無電圧リレー接点出力と有電圧リレー接点出力は動作しません。
また、送信部の選曲スイッチの設定位置と本器の警報ランプ1、2、3がそれぞれ1対1で対応しています。

《防犯報知モード時の報知音の確認方法》

- 確認は、別売の送信部SHA-60、SHA-70または、SHA-100と組み合わせて行なってください。

送信部		本器の報知音
SHA-60、SHA-70の選曲スイッチ	SHA-100の選曲スイッチ	
ON OFF 1 2	1	ピンポン
ON OFF 1 2	2	ポロロン
ON OFF 1 2	3	ピッピッピッ

4-3 非常通報モード

このモードは、別売の送信部SHA-60、SHA-70と組み合わせて使用する場合に設定できます。

- 別売の送信部SHA-60、SHA-70のモードを『非常通報』モードで『非常音』を入（ON）に設定してください。本器が『防犯警戒』・『防犯報知』のモードに関わらず『防犯警戒』モードと同じ警報音（ピーポーピーポー）を発報し、リレー接点が動作状態となります。（4-1を参照してください。）
  送信部の信号を受信すると3秒間1、2、3のランプが早い点滅（0.2秒間）をした後、信号を送信した送信部の選曲スイッチに相当する警報ランプが引き続き点滅し続けます。
  点滅表示を消すには、本器のモードスイッチが『防犯警戒』の場合は『防犯報知』に切り換え、また『防犯報知』の場合は1度『防犯警戒』に切り換え、再び『防犯報知』に戻してください。

※このモードでは外出タイマスイッチがON状態でも外出タイマは動作しません。

《非常通報モード時の確認方法》

〈警報音〉
「ピーポーピーポー」

〈防犯警戒モード〉 MODE SELECT 警戒：報知 または 〈防犯報知モード〉 MODE SELECT 警戒：報知

〈動作表示灯〉
送信ボタンを押すと約1秒間点灯します。

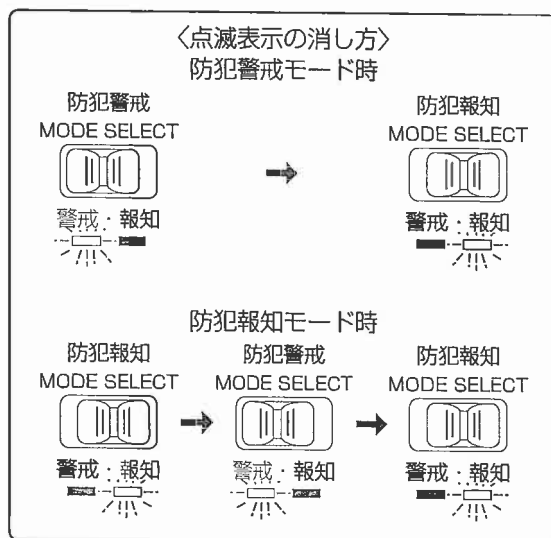
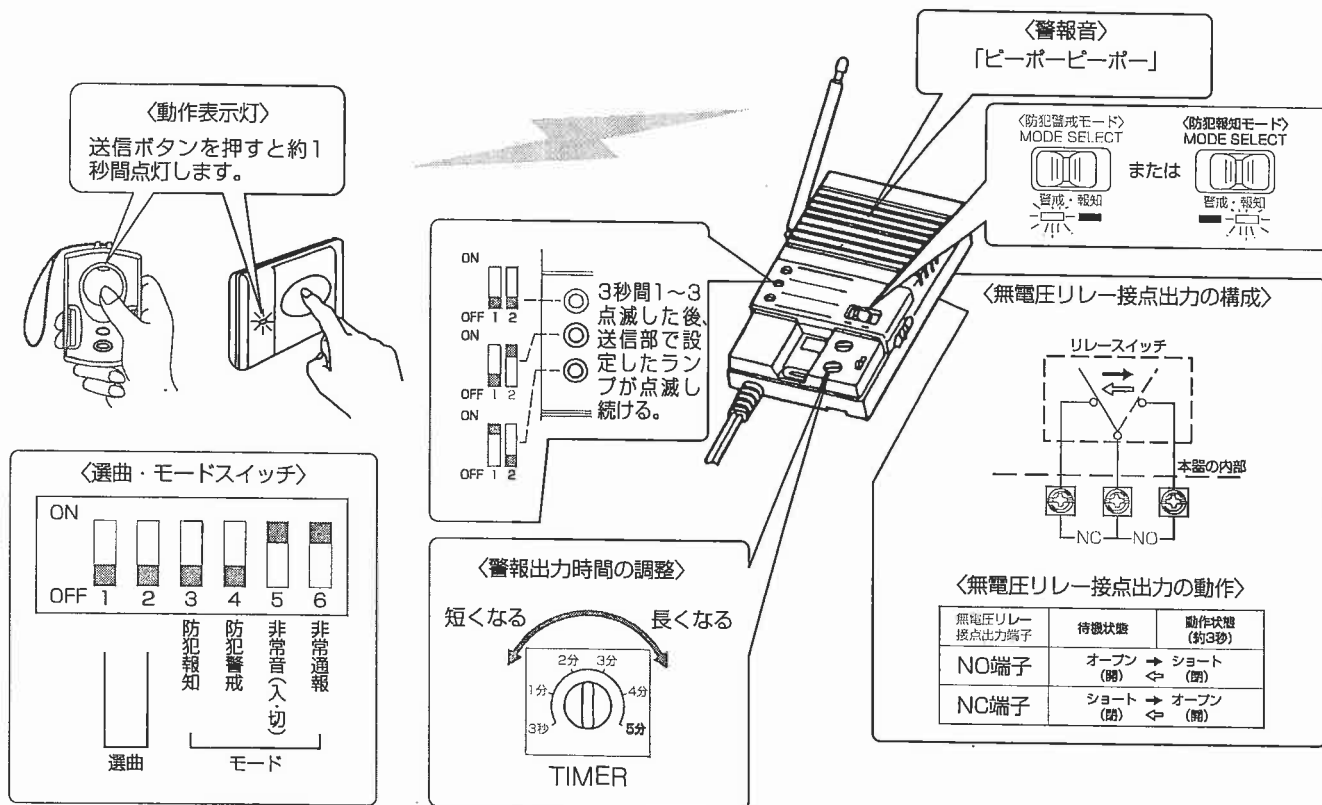
ON OFF 1 2 … 3秒間1～3点滅した後、送信部で設定したランプが点滅し続ける。

〈選曲・モードスイッチ〉
ON OFF 1 2 3 4 5 6
防犯報知 防犯警戒 非常音（入・切） 非常通報
選曲 モード

〈警報出力時間の調整〉
短くなる 長くなる
3秒 1分 2分 3分 4分 5分
TIMER

〈無電圧リレー接点出力の構成〉
リレースイッチ
本器の内部
NC NO

〈無電圧リレー接点出力の動作〉

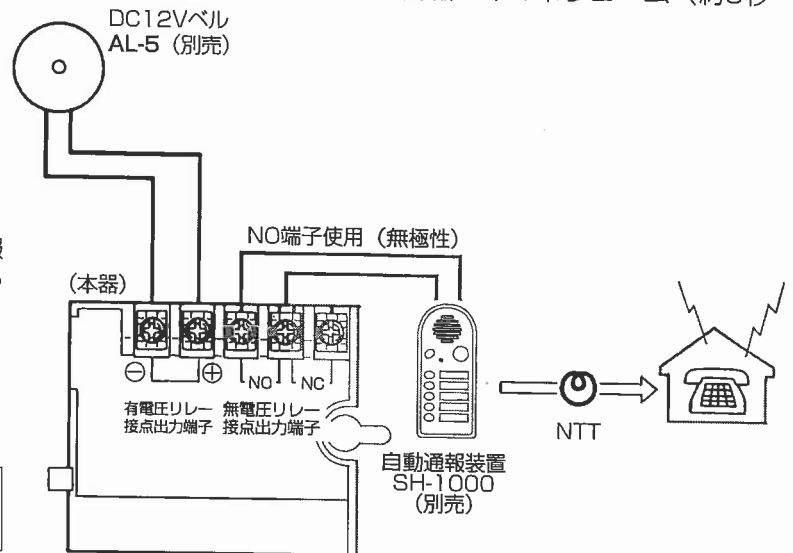
無電圧リレー接点出力端子	待機状態	動作状態（約3秒）
NO端子	オープン（開）	→ ← ショート（閉）
NC端子	ショート（閉）	→ ← オープン（開）

4-4 無電圧リレー接点出力・有電圧リレー接点出力への接続

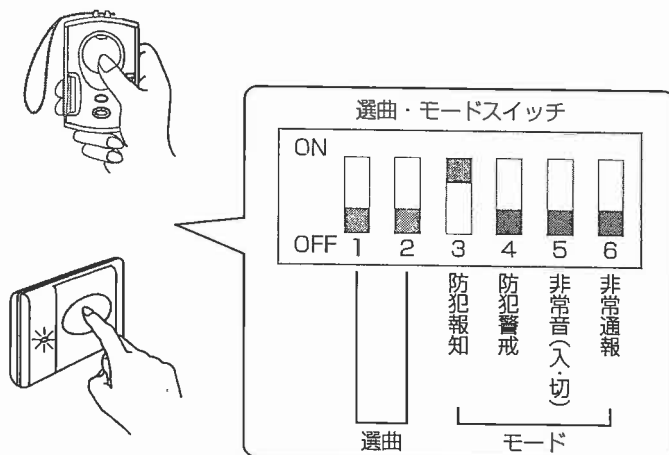
● 無電圧リレー接点出力と有電圧リレー接点出力は防犯警戒モード及び非常通報モードのとき動作します。
無電圧リレー接点出力は自動通報装置、電源内蔵形外部警鳴器等に使用します。
　また、有電圧リレー接点出力（DC12V、70mA）はベル、ブザー等に接続して使用します。動作時間は無電圧リレー接点出力の場合は約3秒間（固定）、有電圧リレー接点出力は警報タイマボリューム（約3秒～5分）で調整してください。

※有電圧リレー接点出力の定格はDC12V、70mAです。
定格電流を超える負荷は接続しないでください。
故障の原因となります。

　右図のように別売の自動通報装置（SH-1000）のセンサ入力端子へ接続することにより、緊急通報先（知人宅、会社、携帯電話やPHS等）へ連絡することができます。

（自動通報装置等によってはセンサ入力端子がNC入力のものもあります。その場合は、NCの出力端子と接続してください。）

無電圧リレー接点出力容量	AC50V 0.2Aまで DC24V 0.2Aまで

4-5 送信部のモード設定
(1) SHA-60、SHA-70

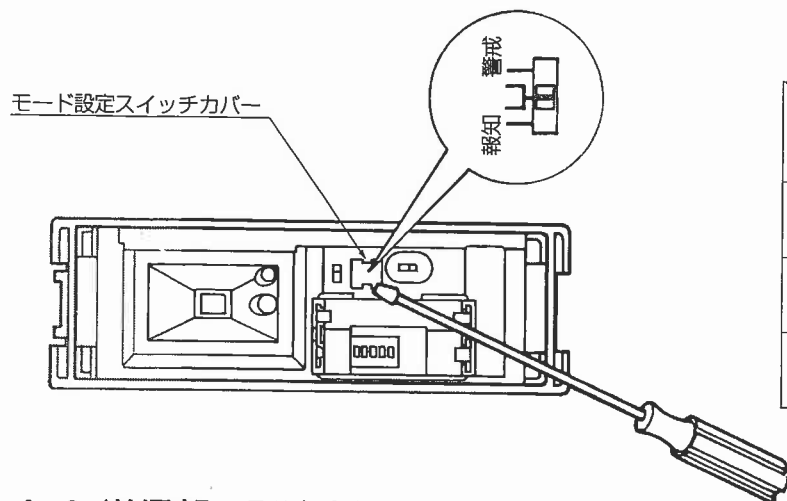
SHA-60、SHA-70のフタを開けると選曲・モードスイッチおよびセレクトスイッチがあります。
モードスイッチは、選曲・モードスイッチの3から6番目です。（5番目は非常音の入切制御用です。）
①防犯報知モード
②防犯警戒モード
③非常通報モード
の3モードがあります。（出荷時モードスイッチは、すべてONに設定しています。）
　特に複数の送信部を設置される場合などお好みにより各モードに振り分けておきますと、発報させたい送信部のみを本器のモード切換スイッチを換えるだけで選択することができます。
　ただし、本器と送信部のモードが一致していないと発報しませんので、下表および各送信部の取扱説明書を参照の上設定してください。

受信警鳴部モード ／ 送信部モード		SHA-300X（モード設定なし）	SHA-500Z 報知	SHA-500Z 警戒
防犯報知	ON OFF 3 4 5 6	○	○	×
防犯警戒	ON OFF 3 4 5 6	×	×	○
※非常通報	ON OFF 3 4 5 6	○	○	○

○は動作する。　×は動作しない。

※『非常音』スイッチ（5番目）が切（OFF）の時、受信警鳴部は非常音（ピーポーピーポー）を発報しません。（下図）

（注）SHA-60、SHA-70の選曲・モードスイッチの「非常通報」（6番）スイッチがONの場合、3番、4番スイッチがON/OFFに関わらず「非常通報モード」となります。

(2) SHA-100

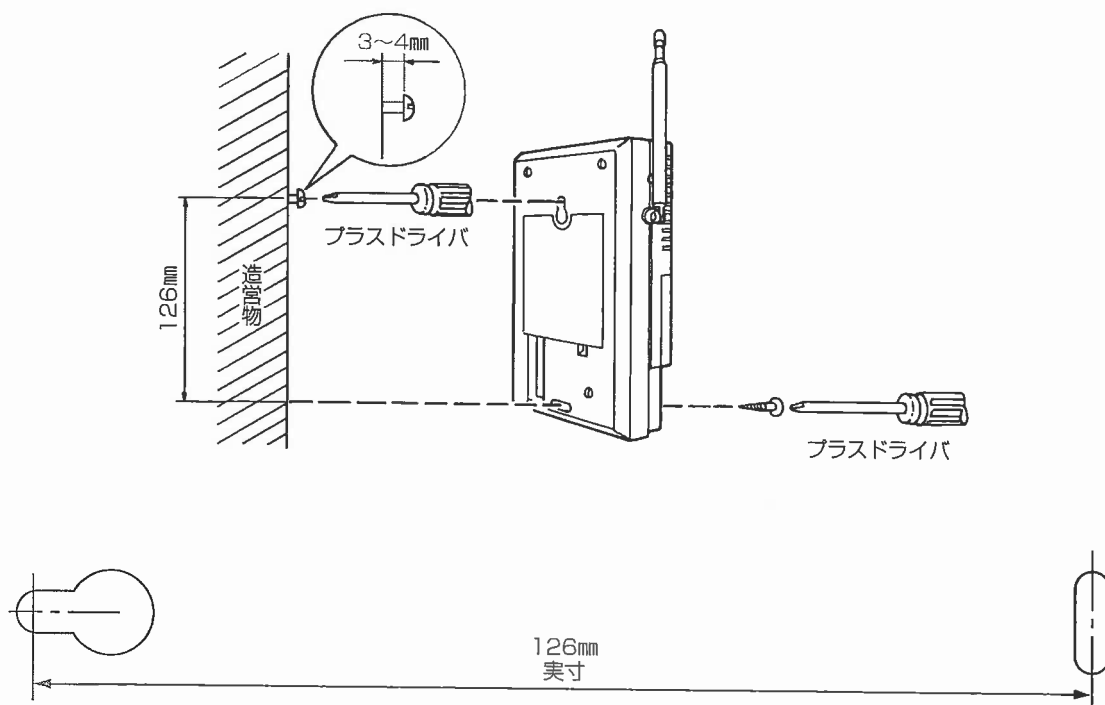
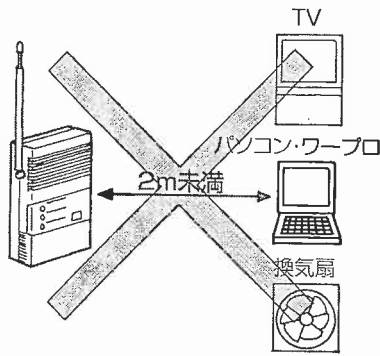
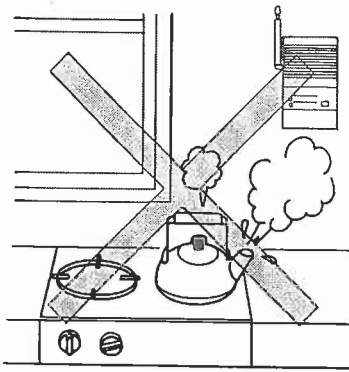
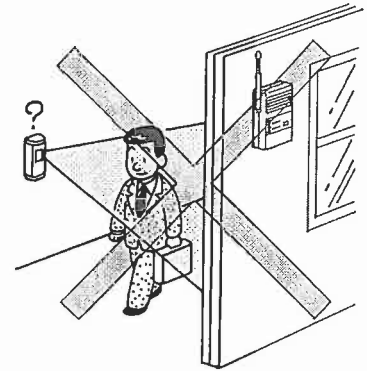
送信部のモード設定スイッチには通常専用のフタがされていますが、それをドライバ等で取り除くと
①防犯警戒モード（警戒）
②防犯報知モード（報知）
③防犯警戒モード・防犯報知モードの両方モード（報知・警戒）
の3モードがあります。しかし、出荷時には“両方モード”に設定されていますので、特に複数の送信部を設置される場合などはお好みにより“報知”または“警戒”に振り分けて設定しておきますと、発報させたい送信部のみを本器のモード切換スイッチを換えるだけで選択することができます。
ただし、本器と送信部のモードが一致していないと発報しませんので、発報させたい送信部のモードは必ず本器のモードと一致するよう設定してください。

受信警鳴部 / 送信部 SHA-100モード	SHA-300X	SHA-500Z	
		警戒	報知
警　　戒	×	○	×
両　　方（真中の位置）	○	○	○
報　　知	○	×	○

○は動作する　×は動作しない

4-6 送信部の電池交換

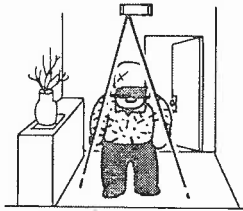
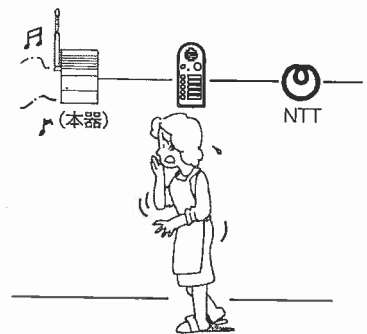
送信部の電池交換の合図

送信部の電池は1年ごとに交換してください。電池が消耗している送信部が動作した場合、本器の警報音もしくは報知音が通常の音より低い音で鳴ります。
また、警報ランプ1〜3が点滅を続けますので、点滅している番号の送信部の電池を交換してください。送信部の電池を交換しますと、本器の電源スイッチを1度OFFにしてください。

5 取付方法

《取付上の注意点》

● TV、パソコン、ワープロ、ラジオ、電子レンジやモーターを内蔵した換気扇、冷蔵庫、洗濯機などから2m以上離してください。

● 湯煙や蒸気が直接かかる場所には設置しないでください。

● 鉄板、金網などが入っている壁や電灯線、配水管などとロッドアンテナが平行になるような場所への取り付けは避けてください。

6 使用例

1．送信部（SHA-60、SHA-70、SHA-100）との組み合わせ（報知モード時の使用例）

3か所の侵入場所が報知音で区別できます。

7 使用上のご注意

● 本器と送信部（別売）との電波到達距離は約100mです。ただし、取付場所、昼夜の別により到達距離は、短くなることがありますので、取り付け時には十分確認してください。

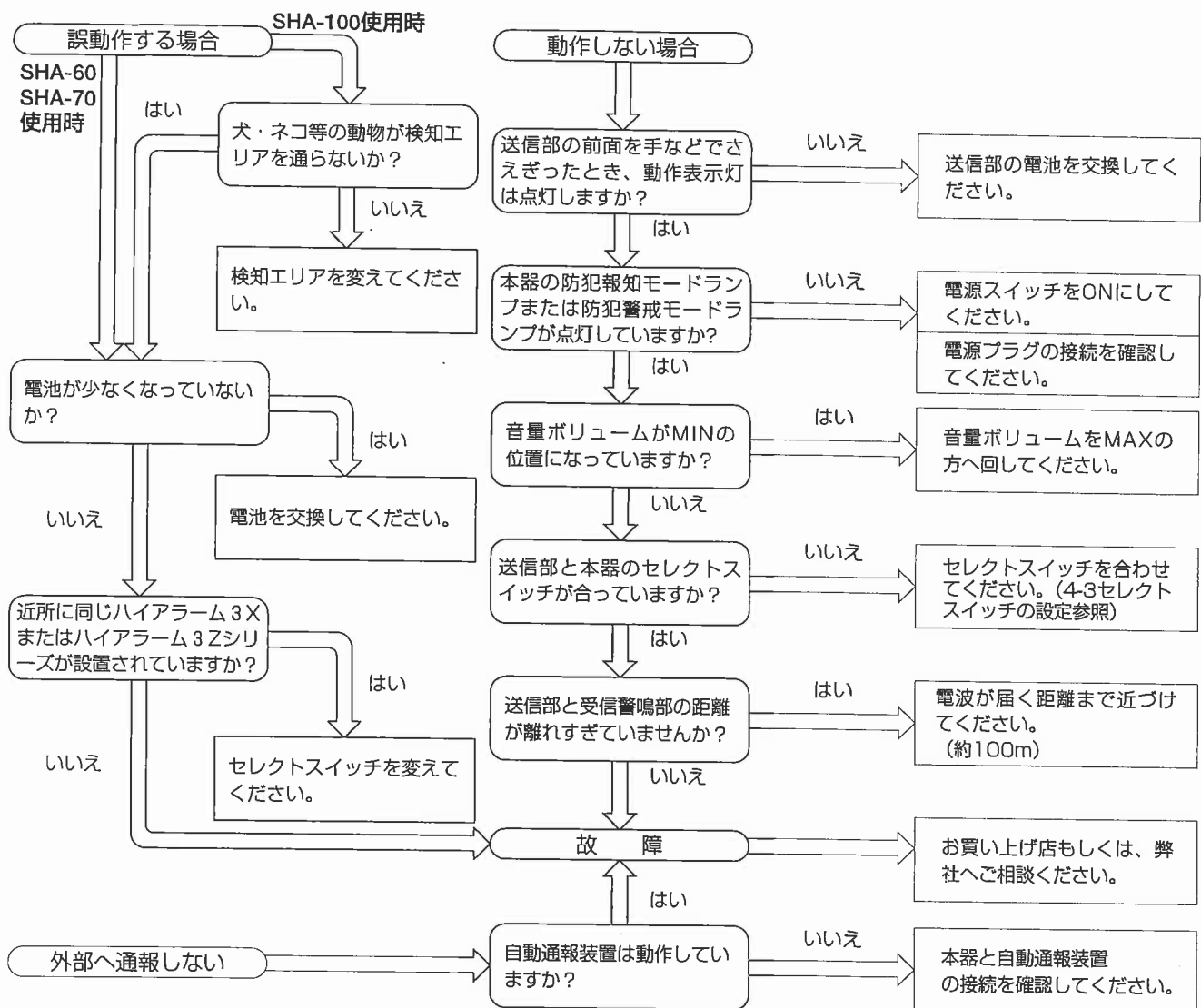
- 送信部と受信警鳴部の間に鉄製のドア、鉄筋コンクリートなど金属製の障害物がある場合。
- 送信部または受信警鳴部の取付面が金属製の場合。
- 放送局などの強い電波を出している場所の近く。
- 高圧線などの電気的ノイズを多く出している場所の近く。
- 本器のロッドアンテナがいっぱいまで伸びていない場合。

● 本器のお手入れは軟らかい布で空拭きするか、中性洗剤を薄めた水で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となりますのでご使用しないでください。

● 本器は、スーパーワイヤレスシリーズとは、互換性がありません。このため、これらと組み合わせて使用できません。

8 機能点検要領

●本器が動作しない時、または誤動作する場合は、故障と判断する前に下図に従って点検してください。

9 仕　様

小電力セキュリティシステムの無線設備 防犯受信警鳴部・主装置　**SHA-500Z**	
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	待機時 1.5W　　動作時 6W
受信周波数	426MHz帯
出力	・防犯警戒/非常通報モード 1．報知音 1音　ピーポーピーポー 2．無電圧リレー接点出力（NO、NC接点） 最大接点容量 ： AC50V、DC24V、0.2A 3．有電圧リレー接点出力：DC12V、70mA 4．赤色ランプ表示： ・点灯3個（防犯警戒モード時） ・点滅3個（非常通報モード時）

項目	内容
出力	・防犯報知モード　報知音　3音 (1)　ピンポン (2)　ポロロン (3)　ピッピッピッ 音圧：約0～75dB　可変(前方1m)
モードランプ	・防犯報知モード表示：緑色灯　点灯 ・防犯警戒モード表示：赤色灯　点灯
使用温度範囲	−10℃～+40℃
質量	550g
外形寸法	180㎜（H）×107㎜（W）×40㎜（D） （ロッドアンテナ、突起部含む）
設置場所	屋内壁面
付属品	木ネジ　2本　場所表示シール　1枚

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

《防犯警戒モード・防犯報知モード・非常通報モードと警報出力の関係》

SHA-60 SHA-70 の選曲スイッチ	SHA-100 の選曲スイッチ	モード	警報出力						
			発報音			無電圧リレー接点出力 有電圧リレー接点出力		警報ランプ	
			音色	発報時間	音量	出力状態	動作時間	表示状態	表示時間
ON OFF 1 2	1. 2. 3. 「1」	防犯警戒モード MODE SELECT 警戒・報知	ピーポー ピーポー	可変 (約3秒～5分) 短 長 2分 3分 1分 4分 3秒 5分 TIMER	固定 最大音量 (約75dB/m)	NO端子 ショート状態 NC端子 オープン状態	無電圧リレー接点出力の場合 約3秒 (固定) 有電圧リレー接点出力の場合 約3秒～5分 (可変)	警報ランプ1 点滅→点灯	点灯保持
ON OFF 1 2	1. 2. 3. 「2」							警報ランプ2 点滅→点灯	
ON OFF 1 2	1. 2. 3. 「3」							警報ランプ3 点滅→点灯	
ON OFF 1 2	1. 2. 3. 「1」	防犯報知モード MODE SELECT 警戒・報知	ピンポン	約3秒	可変 (0～75dB/m) 小 大 MIN MAX VOL	動作しない (NO端子：オープン状態 NC端子：ショート状態)		警報ランプ1 点滅→点灯	点滅後 約5秒間点灯
ON OFF 1 2	1. 2. 3. 「2」		ポロロン	約3秒				警報ランプ2 点滅→点灯	
ON OFF 1 2	1. 2. 3. 「3」		ピッピッピッ	約3秒				警報ランプ3 点滅→点灯	
ON OFF 1 2	非常通報モードは設定できません	非常通報モード (モード切換スイッチに無関係)	ピーポー ピーポー	可変 (約3秒～5分) 短 長 2分 3分 1分 4分 3秒 5分 TIMER	固定 最大音量 (約75dB/m)	NO端子 ショート状態 NC端子 オープン状態	無電圧リレー接点出力の場合 約3秒 (固定) 有電圧リレー接点出力の場合 約3秒～5分 (可変)	警報ランプ全て3秒間点滅 警報ランプ1 点滅→点滅	点滅保持
ON OFF 1 2								警報ランプ2 点滅→点滅	
ON OFF 1 2								警報ランプ3 点滅→点滅	

※防犯警戒モード時の4つの警報出力は、発報・動作・表示時間内でもモード切換スイッチを「防犯報知モード」にすることにより強制的に停止することができます。
※非常通報モード時4つの警報出力は、発報・動作・表示時間内でもモード切換スイッチを切り換えることにより強制的に停止することができます。
・モードスイッチが『警戒』時、『報知』に切り換える。『報知』時、一度『警戒』に切り換え、再度『報知』に戻す。

《本器と送信部の動作モードの関係》

送信部 / 本器のモード	SHA-60 SHA-70のモード			SHA-100のモード		
	防犯報知	防犯警戒	非常通報	防犯報知	両方(真中)	防犯警戒
防犯報知	○	×	○	○	○	×
防犯警戒	×	○	○	×	○	○

○は動作する　×は動作しない

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)
・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)
・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)
・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)
・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)
・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)
・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)
・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)
・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)
・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)
・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)
・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)
・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)
・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)
・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)
・近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)
・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)
・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)
・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)
・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社 (2003年3月現在)

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)